



平成28年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年6月15日
東

上場会社名 オーエス株式会社 上場取引所
コード番号 9637 URL <http://www.osgroup.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 芳樹
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 森口 武士 (TEL) 06-6361-3554
四半期報告書提出予定日 平成27年6月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第1四半期の連結業績(平成27年2月1日～平成27年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第1四半期	2,304	24.5	193	57.7	150	91.2	231	376.3
27年1月期第1四半期	1,851	7.2	122	△18.7	78	△26.5	48	△8.3
(注) 包括利益 28年1月期第1四半期	474百万円(—%)		27年1月期第1四半期		34百万円(△64.8%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第1四半期	14.59	—
27年1月期第1四半期	3.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第1四半期	32,754	27.8	9,110	27.8	9,110	27.8
27年1月期	30,960	28.0	8,675	28.0	8,675	28.0
(参考) 自己資本 28年1月期第1四半期	9,110百万円		27年1月期		8,675百万円	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	2.50	—	2.50	5.00
28年1月期	—	—	—	—	—
28年1月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の連結業績予想(平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,990	5.9	175	△23.8	95	△37.8	60	△32.8	3.79
通期	9,340	△1.8	580	△24.5	415	△32.4	255	△30.8	16.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年1月期1Q	16,000,000株	27年1月期	16,000,000株
② 期末自己株式数	28年1月期1Q	157,180株	27年1月期	156,315株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年1月期1Q	15,843,468株	27年1月期1Q	15,849,005株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成27年2月1日～平成27年4月30日）におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に、企業収益に改善の兆しが見られ、緩やかな回復基調となりました。

このような経済環境のなか、当社グループは、安定した経営・財務基盤を実現するべく、各事業の競争力を高め、収益基盤の強化を図ってまいりました。また、本年4月、大阪市北区所在の不動産を信託財産とする信託受益権の準共有持分を新たに取得いたしました。

当第1四半期連結累計期間の成績は、分譲マンションの販売戸数の増加により、売上高は2,304,972千円と前年同期に比べ453,272千円（24.5%）の増収となり、営業利益は193,293千円と前年同期に比べ70,694千円の増益、経常利益は150,586千円と前年同期に比べ71,839千円の増益、四半期純利益は231,106千円と前年同期に比べ182,584千円の増益となりました。

経営成績をセグメント別で見ると次のとおりであります。

(映画事業)

映画事業におきましては、邦画作品では「映画ドラえもん のび太の宇宙英雄記（スペースヒーローズ）」「ストロボ・エッジ」「名探偵コナン 業火の向日葵（ごうかのひまわり）」、洋画作品では「アメリカン・スナイパー」「イントゥ・ザ・ウッズ」「ナイトミュージアム/エジプト王の秘密」などの話題作品を上映いたしました。

また、映画以外のデジタルコンテンツとして、“福山雅治”や“東方神起”など、国内外の人気アーティストのライブや、「映画 暗殺教室」の初日舞台挨拶を生中継するなど、他館との差別化を図り、より魅力ある施設づくりを目指してまいりました。

さらには、社会貢献活動といたしまして、「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」に引き続き参画し、特別上映会の実施を通じて「心豊かな地域文化の確立」に取り組んでまいりました。

売上高は719,814千円と前年同期に比べ48,915千円（6.4%）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は29,072千円と前年同期に比べ29,634千円の減益となりました。

(不動産賃貸・販売事業)

不動産賃貸業界のオフィスビル市況は、景気回復の兆しを受け、企業の拡張・移転需要が増加いたしました。しかしながら、賃料水準につきましては、東京都心5区で回復が進む一方で、大阪ビジネス地区では大型ビルの竣工等により、依然厳しい状況が継続しております。

このような状況のなか、不動産賃貸事業におきましては、「OSビル」においてにぎわいを創出するイベントを実施するとともに、共用部の美装化を行うなど、ビルの活性化と資産価値の向上に努めてまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間末における保有ビルの稼働率は98.2%を維持することができました。

不動産販売事業におきましては、分譲マンション「プレジア守口松町 ザ・レジデンス」及び「プレジアブラン東園田」の売上を計上しております。

また、分譲マンション「プレジア京都 山科東野」の販売を本年2月より開始し、来年1月の竣工に向け、鋭意取り組んでおります。

売上高は1,152,120千円と前年同期に比べ465,003千円（67.7%）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は269,588千円と前年同期に比べ81,082千円の増益となりました。

(ホテル事業)

大阪のホテル業界は、円安による訪日旅行者の増加や、景気の回復基調の影響を受けた国内旅行者の増加により、堅調に推移しております。

「梅田OSホテル」におきましては、一部客室の備品を新調するとともに、継続的に美装化を行うなど、快適な空間の提供に取り組んでまいりました。また、インターネット宿泊サイトにおいて、需要動向を見据えた販売管理を徹底し、収益力の強化に努めてまいりました。

売上高は192,249千円と前年同期に比べ15,501千円（8.8%）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は54,745千円と前年同期に比べ12,618千円の増益となりました。

(飲食事業)

飲食業界は、エネルギーコストや食材価格の上昇により、依然として厳しい経営環境が継続しております。

飲食事業におきましては、安全・安心な商品の提供に努め、顧客満足度の向上を図るとともに、コスト管理を徹底し、収益力の向上に努めてまいりました。

売上高は94,705千円と前年同期に比べ5,634千円(6.3%)の増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は4,372千円と前年同期並みとなりました。

(その他事業)

その他事業の「namco三宮店」は、スマートフォン向けソーシャルゲームの市場拡大の影響を受け、厳しい市場環境にあるものの、一部集客力の高いゲーム機器が堅調に推移いたしました。

売上高は146,081千円と前年同期に比べ16,049千円(12.3%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は25,513千円と前年同期に比べ4,987千円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は1,794,064千円の増加となりました。これは主に販売用不動産255,248千円の減少がありましたが、有形固定資産2,243,528千円の増加によるものであります。

負債につきましては1,359,392千円の増加となりました。これは主に再評価に係る繰延税金負債186,005千円及び未払法人税等153,714千円の減少がありましたが、長期借入金1,229,871千円、短期借入金579,480千円の増加によるものであります。

純資産につきましては434,672千円の増加となりました。これは主に利益剰余金191,497千円及び土地再評価差額金186,005千円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年1月期の連結業績予想につきましては、平成27年3月16日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,515,107	1,326,479
売掛金	423,730	345,231
販売用不動産	2,037,386	1,782,137
商品	12,632	18,208
貯蔵品	5,065	4,453
前払費用	87,774	136,536
繰延税金資産	42,178	41,487
その他	15,032	13,258
貸倒引当金	△7,383	△7,383
流動資産合計	4,131,523	3,660,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,094,615	22,106,460
減価償却累計額	△12,034,791	△12,162,477
建物及び構築物(純額)	10,059,824	9,943,982
機械装置及び運搬具	308,706	308,865
減価償却累計額	△157,245	△163,634
機械装置及び運搬具(純額)	151,461	145,231
工具、器具及び備品	910,168	895,571
減価償却累計額	△665,923	△668,165
工具、器具及び備品(純額)	244,244	227,405
土地	14,387,172	14,387,172
信託建物	-	567,392
減価償却累計額	-	△2,978
信託建物(純額)	-	564,413
信託土地	-	1,812,608
リース資産	-	5,653
減価償却累計額	-	△235
リース資産(純額)	-	5,417
有形固定資産合計	24,842,702	27,086,230
無形固定資産		
ソフトウェア	147,391	139,773
その他	9,369	9,228
無形固定資産合計	156,760	149,001
投資その他の資産		
投資有価証券	481,928	555,294
長期前払費用	238,154	212,650
差入保証金	613,979	614,173
建設協力金	431,188	432,791
繰延税金資産	30,304	11,856
その他	17,311	17,271
投資その他の資産合計	1,812,868	1,844,038
固定資産合計	26,812,331	29,079,270
繰延資産		
社債発行費	16,661	14,899
繰延資産合計	16,661	14,899
資産合計	30,960,517	32,754,581

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	192,915	224,646
短期借入金	2,246,836	2,826,316
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
リース債務	-	3,052
未払金	70,239	30,209
未払費用	342,879	319,072
未払法人税等	219,885	66,170
未払消費税等	156,304	36,506
賞与引当金	36,559	83,157
その他	278,292	294,500
流動負債合計	4,043,912	4,383,631
固定負債		
社債	1,200,000	1,200,000
長期借入金	11,138,517	12,368,388
リース債務	-	2,798
長期預り保証金	2,096,335	2,221,262
繰延税金負債	1,516,993	1,376,477
再評価に係る繰延税金負債	1,947,585	1,761,580
退職給付に係る負債	341,380	329,978
固定負債合計	18,240,811	19,260,484
負債合計	22,284,724	23,644,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,506	66,506
利益剰余金	5,297,740	5,489,237
自己株式	△96,708	△97,270
株主資本合計	6,067,538	6,258,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117,576	169,511
土地再評価差額金	2,518,226	2,704,231
退職給付に係る調整累計額	△27,547	△21,751
その他の包括利益累計額合計	2,608,254	2,851,991
純資産合計	8,675,793	9,110,465
負債純資産合計	30,960,517	32,754,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)
売上高	1,851,699	2,304,972
売上原価	1,506,555	1,896,738
売上総利益	345,143	408,233
一般管理費	222,544	214,939
営業利益	122,599	193,293
営業外収益		
受取利息	2,322	2,362
補助金収入	2,363	-
その他	473	158
営業外収益合計	5,159	2,520
営業外費用		
支払利息	41,024	41,119
その他	7,987	4,108
営業外費用合計	49,012	45,228
経常利益	78,746	150,586
特別損失		
固定資産除却損	682	22
特別損失合計	682	22
税金等調整前四半期純利益	78,063	150,563
法人税、住民税及び事業税	38,969	61,241
法人税等調整額	△9,427	△141,784
法人税等合計	29,541	△80,542
少数株主損益調整前四半期純利益	48,522	231,106
四半期純利益	48,522	231,106

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	48,522	231,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,285	51,935
土地再評価差額金	-	186,005
退職給付に係る調整額	-	5,796
その他の包括利益合計	△14,285	243,736
四半期包括利益	34,236	474,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,236	474,843
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	768,729	687,117	176,747	89,071	130,032	1,851,699	—	1,851,699
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	35,871	—	—	—	35,871	△35,871	—
計	768,729	722,988	176,747	89,071	130,032	1,887,570	△35,871	1,851,699
セグメント利益	58,706	188,506	42,126	4,747	20,526	314,613	△192,014	122,599

(注) 1. セグメント利益の調整額△192,014千円には、セグメント間取引消去△306千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△191,707千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年2月1日至平成27年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	719,814	1,152,120	192,249	94,705	146,081	2,304,972	—	2,304,972
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	36,215	—	—	—	36,215	△36,215	—
計	719,814	1,188,336	192,249	94,705	146,081	2,341,187	△36,215	2,304,972
セグメント利益	29,072	269,588	54,745	4,372	25,513	383,292	△189,998	193,293

(注) 1. セグメント利益の調整額△189,998千円には、セグメント間取引消去△758千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△189,240千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。